

日立拡底杭施工用アースドリル HE6010B

■全体寸法図(単位:mm)

クラス最高の大深度掘削。 強力なパワーと高精度な杭施工を実現!

■大深度施工が可能

4段式のスーパーロングケリーバを採用しているため、65mもの大深度掘削が可能です。

■強力な掘削トルク

バケット回転トルクが10t-mと大きく、軸部径でφ3m、拡底径でφ4.1mの大口径掘削を実現しました。

■精度の高い施工

ケリーバガイド装置の採用により、精度の高い杭の施工ができます。

■余裕あるウインチカ

ラインプルが24.6tで余裕のある作業が可能となります。

■容易な分解、組立

フロントフレーム起伏ロープのペンダント化でアース用ブームの分解が容易です。

■施工管理の充実

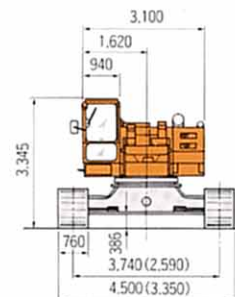
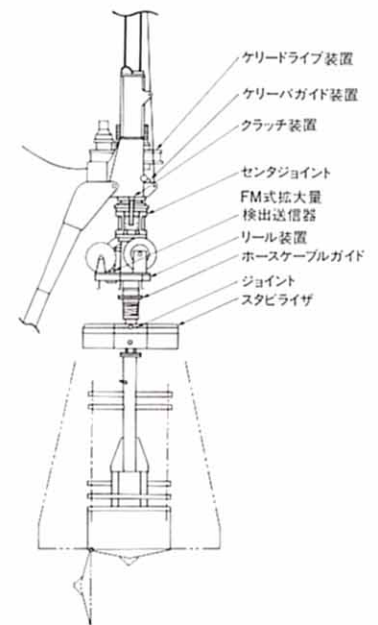
垂直計、トルク計、拡底形状管理記録装置を標準装備しているため、杭及び杭底施工の管理がより向上しました。

■拡底装置に関する実施特許

- 特許第1439630号
- 特許第1519161号
- 特許第1555167号



●アースドリルフロント部



()内寸法はクローラ縮小時の寸法を示します。

[]内寸法は200mmジョイントを取付けた時の寸法を示します。

バケット関係の寸法は拡底バケット型式2241装着時の値を示します。

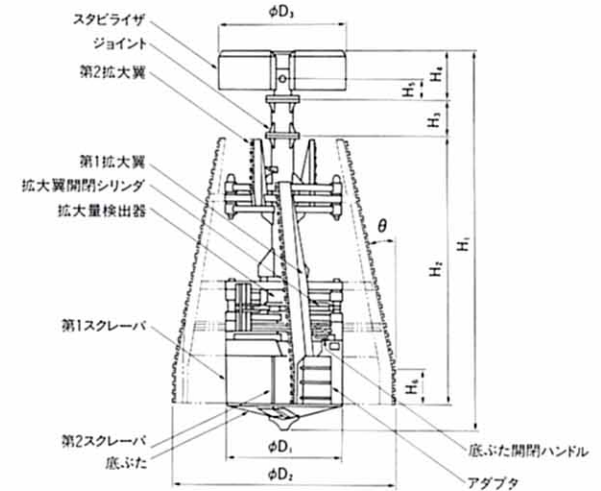
日立拡底杭施工用アースドリル HE6010B

■仕様

ブーム長さ (m)		28	
ドリリング バケット	最大掘削径 ^{※5} (φmm)	3,000	
	最大掘削深度 (m)	ケリーバのみ使用	60.5
		ステムロッド使用	65 (ステムロッド4.5m)
拡底バケット	拡底バケット型式	0815~2241	
	最小基本径 ^{※6} (φmm)	2,200	
	最大拡底径 ^{※6} (φmm)	4,100	
	最大掘削深度 ^{※1} (m)	65 ^{※4} [64.8]	
バケット回転トルク (t-m)		(正転)10 (逆転)10	
ケリーバ最大巻上力 (t)		24.6	
補助つり上げ荷重 ^{※2} (t)		最大13(6.5)	
作業速度	バケット回転 ^{※3} (rpm)	(高速)17 (低速)8.5	
	バケット巻上げ ^{※3} (m/min)	(高速)40 (低速)20	ロープ径 φ28mm
	バケット巻下げ (m/min)	(高速)40 (低速)20	
	補助つり巻上げ ^{※3} (m/min)	(高速)66 (低速)33	ロープ径 φ22mm
	補助つり巻下げ (m/min)	(高速)66 (低速)33	
	ブーム上げ ^{※3} (m/min)	60	ロープ径 φ16mm
	ブーム下げ (m/min)	60	
旋回 (rpm)	3.5		
走行速度 ^{※3} (km/h)		1.0	
エンジン	メーカー・型式	日野EP100T(ディーゼルエンジン)	
	定格出力 (PS/rpm)	200/2,000	
カウンタウエイト (t)		29.8	
クローラシュー幅 (mm)		760	
全装備重量(拡底杭施工時) ^{※6} (t)		104	
接地圧 (kg/cm ²)		1.31	

注記: ^{※1} 拡底杭施工時、ステムロッドは使用できません。
^{※2} ブーム角度により変わります。尚、「補助つり作業」とは、アースドリル施工時のスタンドパイプ、鉄筋及びトレミー管のつり込み作業をいいます。()は一ホつりの場合の最大値です。
^{※3} 負荷により速度変化します。
^{※4} []は本体付属のジョイントパイプ[0.2m長]を拡底バケットから外した時の値です。
^{※5} 地層により変化します。
^{※6} 拡底バケット型式2241装着時の値を示します。

■拡底バケット仕様



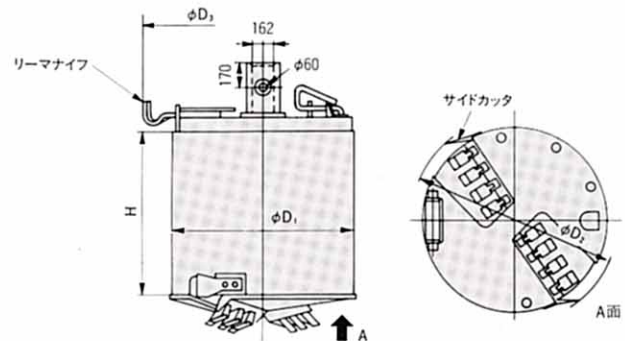
拡底バケット型式 ^{※4}	2241 ^{※5}	
D ₁ . 拡大翼引込バケット最大径 ^{※1} (φmm)	1,880 (2,240)	
D ₂ . 最大拡底径 ^{※1} (φmm)	4,000 (4,100)	
D ₃ . 最小スタビライザ径 ^{※1, ※2} (φmm)	2,170 (2,270)	
H ₁ . 全高 (mm)	5,470	
H ₂ . バケット高さ (mm)	4,450	
H ₃ . ジョイント高さ (mm)	0	
H ₄ . スタビライザ高 ^{※3} (mm)	650	
H ₅ . ケリーバジョイント高さ (mm)	290	
H ₆ . 拡大翼垂直部高さ (mm)	500	
θ. 拡大翼傾斜角 (度)	12	
重量 ^{※1} (kg)	9,250 (9,630)	

注記: ^{※1} ()内はアダプタを装着したときの値を示します。
^{※2} 軸径に合わせてスタビライザを付替える必要があります。
^{※3} ケリーバ取付けボスがスタビライザのドラムの中にかかれます。
^{※4} 拡底バケット型式0815~2037の8タイプも用意しています。
 拡底バケット型式0815~1527で掘削を行う場合はリリーフバルブを切換え、最大掘削トルクを4.1t-mにして使用してください。又、1731~2041で掘削を行う場合は6.2t-mにしてください。
^{※5} 10t-m対応型、また10t-m対応型の2037も用意してあります。

■ドリリングバケット仕様

バケット呼称 φD ₁ (mm)	掘削径 φD ₂ (mm)	リマ掘削径 φD ₃ (mm)	バケット高さ H(mm)	容量 (m ³)	重量 (kg)
2,880	3,000	3,300	500	3.02	3,800
2,780	2,900	3,200	500	2.82	3,600
2,680	2,800	3,100	500	2.64	3,400
2,580	2,700	3,000	550	2.60	3,260
2,480	2,600	2,900	550	2.43	3,060
2,380	2,500	2,800	550	2.23	2,860
2,280	2,400	2,700	600	2.22	2,610
2,180	2,300	2,600	600	2.02	2,410

※上表以外の呼称径φ680~φ2,080mmの15タイプも用意しています。



日立建機株式会社

東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル)
 ☎ダイヤルイン 03(3245)6363 マーケティング本部

- 機体重量3トン以上の建設機械の運転は「車両系建設機械運転技能講習」の技能講習修了証の交付を受けた人に限られます。
- 本カタログに記載されている仕様は、予告なく変更させていただくことがあります。
- 本機をご使用にあたっての注意事項等詳細は取扱説明書をご覧ください。
- 本カタログで使用されている稼働写真は、一部特別仕様が含まれている場合があります。

KC-032

★くわしくお知りになりたい方は、下記へご連絡ください。

KM-F[H, H](MT₃-C, KM-M)